

## 平成 29 年度町政懇談会記録、(要旨)

開催日 : 平成 29 年 10 月 13 日 (金)

開会 : 午後 7 時 00 分 閉会 : 午後 8 時 03 分

場所 : 笹尾東 2 丁目集会所

参加者 : 男 10 人、女 8 人 計 18 人 (うち職員 8 人)

町職員 : 町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、政策課員

### ○懇談

男性 1 農業の話ですが、どのような日程でどのように行っていくのか簡潔にお話ししていただけないですか。

建設部参事 事業者の予定もございますので、はっきりとしたことは言えませんが、今年度事業者と協議をしまして、来年からこちらへ来ていただいて、担い手農家と一緒に事業を起こしていただく予定です。事業規模はあまり大きな規模がいらないので、来年中には協議がまとまれば、創業できるのではないかと考えております。先ほど大豆といいましたが、この大豆はまるごと使える大豆です。普通大豆は豆腐を作るにも、豆乳を作るのにおからができます。おからは産業廃棄物として処理費用がかかります。この企業の技術を使うと大豆をまるごと使って栄養価の高いものができますので、当然付加価値が上がります。それを売り出していこうということですが、そのあとのことは詳しくは言えませんが、この企業と町内の農業者と一緒に取り組んでいくことが前提になります。うまくいきましたら、町内で売り出したいと思っておりますのでその時はよろしく願います。また、いまブドウとブルーベリーを栽培をしまして、他にも色々なものを進めていきたいとは思いますが、今年初めて収穫しましたが、大変大粒で糖度の高いものできていますので、これも東員町の特産品として、売り出していきたいと考えていますので、よろしく願います。

男性 2 農業というと、いま自然災害が非常に心配ですが、自然災害によるリスクはどのように考えていますか。

建設部参事 どうしても路地栽培については、自然災害のリスクはございます。園芸については、施設栽培を基本に考えていますので、気候によって左右されないということで、施設栽培を考えていますが、どうしても路地の大豆や米は自然災害、台風などの影響はありますので、そのときの保障として、東員町だけでなく、いなべまで広げるような作付面積を考えるという保障は必要となります。

男性 2 保障の対策はとられるのですか。

建設部参事 最初のうちは無理ですが、町内、町外、海外まで展開できるというような話になるときは、必要と考えていますが、まず、東員町で良いものを作っていくことが大事だと思っています。

男性 3 今作付けされている大豆は、何かに利用されているのですか。

建設部参事 今東員町で大豆が作られているのは減反政策からで、東員町に 150ha の大豆が作られています。大豆を作る目的は減反施策の補助金をもらうためとなっていますので、力が入っていません。これを何とか変えようとしています。今大豆は三重県で統一されている品種が東員町でも作られています。しかし、大豆を高く売っていくためには、当然差別化が必要ですから、今三重県で作られていない大豆の品種を東員町で作っていきたい。今の大豆は農協を通して売られています。どこへ売られているかはわかりません。

男性 4 水道料金ですが、県内で一番安いということ、広報紙なんかで紹介されているのを見たことがないです。今回のごみ袋の値上げで感じましたが、今まで安かった分、結構な値上げになったので、今まで安いということをもっと皆さんに浸透するような活動をしたらどうかと思いました。今までこんなに安かったということがわかっているれば、あんなに反発はなかったと思います。

町長 水道料金とごみ袋は性格が違いますので、分けてお話をさせていただきます。ごみ袋を買っていただく狙いは、ごみ処理をするのにお金がかかっていることを知っていただくことです。ごみ袋の値段がいくらかということ、おそらく、もっと高い値段だと思っています。しかし、桑名市、木曾岬町、東員町で 1 つのごみ焼却場ですからごみ袋を統一しましょう。そして、ごみを処理することに費用がかかることを皆さんに分かっていただき、ごみを処理する料金を皆さんに払っていただく、という考え方のもとで、もう少し値上げをしなければいけないとなり、落ち着いたのが 1 袋 20 円です。

水道料金については、40 年ほど東員町は料金が変わっていないです。三重県下で一番安いです。17% 値上げになったとしても、おそらく 2,000 円はいかないでしょう。県下で 2 番目に安い桑名市が 2,430 円です。東員町は値上げしても 2,000 円まではいかないの、値上げしても県下で一番安いと思います。水道料金はできるだけ安く提供したいと考えています。逆にごみは、皆さんにもう少し高い値段がかかっていることをわかってほしいということで、少し性格が違います。

男性 4 それはわかりますが、水道が県下で一番安いことや、東員町はごみ袋が安かったとか、みんなに現状を認識してもらうことを、もっとやっていくべきではないのかなと思います。

上下水道課長　　今まで水道の料金のお話をさせていただく機会もなかなかなかったと思います。水道事業は公営企業なので、水道に必要な料金は水道事業で賄い、税金の投入は行っていません。他の市町で赤字補填で補うところもありますが、いまそれも改めていています。東員町はコンパクトな町で、設備的に水源が近くて管路も短く、コンパクト、なお且、きれいな水があることから今まで料金を安くできてきました。値上げせずに何とか経費を削減しながら、今までの料金表を維持できました。しかし、当初に投資したものが古くなれば、更新をしなければいけません。更新するのであれば今の料金では耐え切れないです。水道料金が安いので東員町に転入してくださいというような、住民を増やすためのPRとしては、水道はPR 不足だったかなというところではございますが、今後は情報を皆さんにお伝えしながら、料金改定に向けて、色々ご協力いただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

町長　　水道施設は直していかないと、大きな地震などが来たときに、水道が止まってしまうことが一番懸念されます。災害でダメージはあっても、ちょっとした修理で皆さんに水道をお届けできる体制をとっておきたいということで、料金改定をお願いしていかねばならないと思っています。

男性 5　　いま暗い話が多いですが、もう少し、我々年寄りに対して夢のある話をしてほしいです。広報などで町の財政のことが掲載されています。昨年からどれだけ上がったのか下がったのかということ、みんなにわかるように工夫してくれば、もっと住民の皆さんが理解できると思います。例えば、民生費は27年度には25億2,620万円が歳出されています。28年度においては、26億7,557万円で、1億4,937万円増えています。しかし、総務費は27年度の14億4,173万円が、28年度に9億7,009万円となっています。4億7,000万円を削減して他のところにまわしてくれているんです。これはものすごくいい話ではないですか。だからもう少しPRしていただきたい。

男性 6　　以前町長が、古くなった保健福祉センターの空調を光冷暖房システムに変えますとお話されていましたが、いい話だなと思いました。そういうことをみんなにわかるようにしてほしいです。

男性 7　　水道事業ですが、10年間で24億円ということですが、これは29年度から10年間ですか。

上下水道課長　　そうです。29年度からです。

男性 7　　29年度の事業費はどこから調達するのですか。

上下水道課長　　29年度の事業費については、内部留保資金、それと企業であれば減価償却して貯め

ている分です。水道事業の中でやりくりしますので、一般会計からということはありません。

男性 7 広域事業、清掃事業で 100 何億かかりますよね。地方債を発行されますよね。これはいつからですか。

町長 今からかかりますので、30 年度からですね。

男性 7 それは地方債として返済していきますよね。その分は、何か削っていかねばならないという話はないですか。

町長 それはないです。ごみの焼却施設というのは、今の現役世代だけではなくて、将来の人にも使ってもらわなければならないわけですから、将来の人にも払ってもらうことになります。ごみの処理料は、町の税金といろいろな収入の中から払います。RDF から新しい焼却施設にかわりますので、ごみ処理料にかかる東員町の持ち出しが 1 億以上減ります。皆さんの負担は減ります。

#### ・懇談による意見

1. 新しい農業の事業計画について
2. 料金の値上げにかかる周知方法について
3. 財政の周知方法について
4. 地方債の返済について